

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 1 区分
 【発行日】平成 28 年 12 月 15 日 (2016.12.15)

【公開番号】特開 2016-184592 (P2016-184592A)
 【公開日】平成 28 年 10 月 20 日 (2016.10.20)
 【年通号数】公開・登録公報 2016-060
 【出願番号】特願 2016-132568 (P2016-132568)
 【国際特許分類】

H 0 5 B 3/48 (2006.01)

F 2 3 Q 7/00 (2006.01)

【F I】

H 0 5 B 3/48

F 2 3 Q 7/00 V

F 2 3 Q 7/00 6 0 5 M

【手続補正書】
 【提出日】平成 28 年 10 月 26 日 (2016.10.26)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

絶縁基体と、該絶縁基体に埋設された、第 1 直線部、該第 1 直線部と並行に設けられた第 2 直線部および前記第 1 直線部と前記第 2 直線部とを繋ぐ折返し部から成る発熱体と、前記絶縁基体に埋設されるとともに前記第 1 直線部に接続された第 1 リードと、前記絶縁基体に埋設されるとともに前記第 2 直線部に接続された第 2 リードとを備え、前記第 1 リードおよび前記第 2 リードの両方の軸を含む平面において、前記第 1 直線部の軸線が、前記第 1 直線部と前記第 2 直線部との間隔を維持したまま、前記第 1 リードの軸線に対して傾斜しているヒータ。

【請求項 2】

前記第 1 直線部および前記第 2 直線部が、前記第 1 リードおよび前記第 2 リードの両方の軸を含む平面に対して傾斜している請求項 1 に記載のヒータ。

【請求項 3】

前記第 1 直線部および前記第 2 直線部が、前記第 1 リードおよび前記第 2 リードの両方の軸を含む平面に対して 5 ~ 20 ° 度傾斜している請求項 2 に記載のヒータ。

【請求項 4】

前記第 1 直線部および前記第 2 直線部が、前記第 1 リードおよび前記第 2 リードの両方の軸を含む平面に対して 11 ~ 16 ° 度傾斜している請求項 2 に記載のヒータ。

【請求項 5】

請求項 1 乃至請求項 4 のうちのいずれかに記載のヒータと、前記ヒータを保持する金属製保持部材とを備えたグローブラグ。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0004
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0004】

本発明のヒータは、絶縁基体と、該絶縁基体に埋設された第１直線部、該第１直線部と並行に設けられた第２直線部および前記第１直線部と前記第２直線部とを繋ぐ折返し部から成る発熱体と、前記絶縁基体に埋設されるとともに前記第１直線部に接続された第１リードと、前記絶縁基体に埋設されるとともに前記第２直線部に接続された第２リードとを備え、前記第１リードおよび前記第２リードの両方の軸を含む平面において、前記第１直線部の軸線が、前記第１直線部と前記第２直線部との間隔を維持したまま、前記第１リードの軸線に対して傾斜している。